

乾く日々

あまりにも乾いていて、ちょうどよい仕事が見つからない中、たまっていく仕事を数え上げないようにしていますが、繁茂し、種までつけた草を、不本意ながら、土煙を上げ、刈り倒す日々です。

山はずんずん太り、いつもどおりもいっぱいありますが、そうでないことも、色々あります。

何やかやの積み重ねで時節を刻み、カレンダーの日付も落ち着く感じなのですが、抜け落ち、かけている何かのせいで、日時は暗記できない数字のようです。

自分の脳みその責任を転嫁しているだけではないのか、などと、あやうさも感じつつ、雨を待っています。(晃)

2か月ぶりです

前回のたよりを書いたのが、3月19日でした。雪害以降、いったい何をしていたのでしょうか・・・



完成した、物置です。トラクター3台と、小さなコンバイン、などを入れました。もう一つの物置も、棚を増設して、資材類を整理して収納。とりあえず、ひと段落です。

別の畑の、全壊したハウスを片付けて、抜いたパイプです。3棟で、計40m分のハウスの曲がってし

まったパイプを、引き抜いて、リサイクル業者に軽トラックで2台大盛り運び込んで、計1万円ほどの収入となりました。解体作業にかかった時間を考えなければ、ちょっとうれしい。



向こうが見えないほど、篠竹が茂っていた里山が、きれいになりました。昨年、イノシシ対策で、里山をきれいにはしています。今年は、4月13日に、有志20名ほどで作業しました。

右側の中腰の青年は、高校出たての18歳、昔一緒に研修した友人の息子さんです。4月に、1週間ほど滞在して農業体験しました。



さて、5月より、宅配便のクロネコヤマトからゆうパックへ切り替えが、何とか実現しました。野菜セットの方は、玉ねぎの不作、低温と乾燥による野菜の生育の遅れ、などで、なかなか厳しいです。気温が低めなので、エンドウは元気です。早く、キュウリやズッキーニがとれ出すといいなあ・・・ 外界が極度に乾燥しているからか、育苗ハウスで、なんとナメクジが大発生。高価な果菜の苗の双葉などがたくさんかじられました。屋間は隠れているので、みんなで育苗箱をひっくり返して、何十匹も捕殺。なめたらいかんぜよ。(5月12日 泰子)

